

帯広市公共施設マネジメント計画

《概要版》



市民の共有財産である公共施設等の多くで老朽化が進んでいます



◆ 帯広市ではこれまで、多くの公共施設等（公共施設（建築物）、インフラ施設、公営企業施設）を整備してきました・・・

< 公共施設（建築物） >

施設数 **285**施設

延床面積 約 **73.5** 万㎡



学校、市営住宅、コミュニティセンター、保育所、
とかちプラザ、体育館、市庁舎など

< インフラ施設 >

道路、橋梁、
公園、簡易水道、
農村下水道



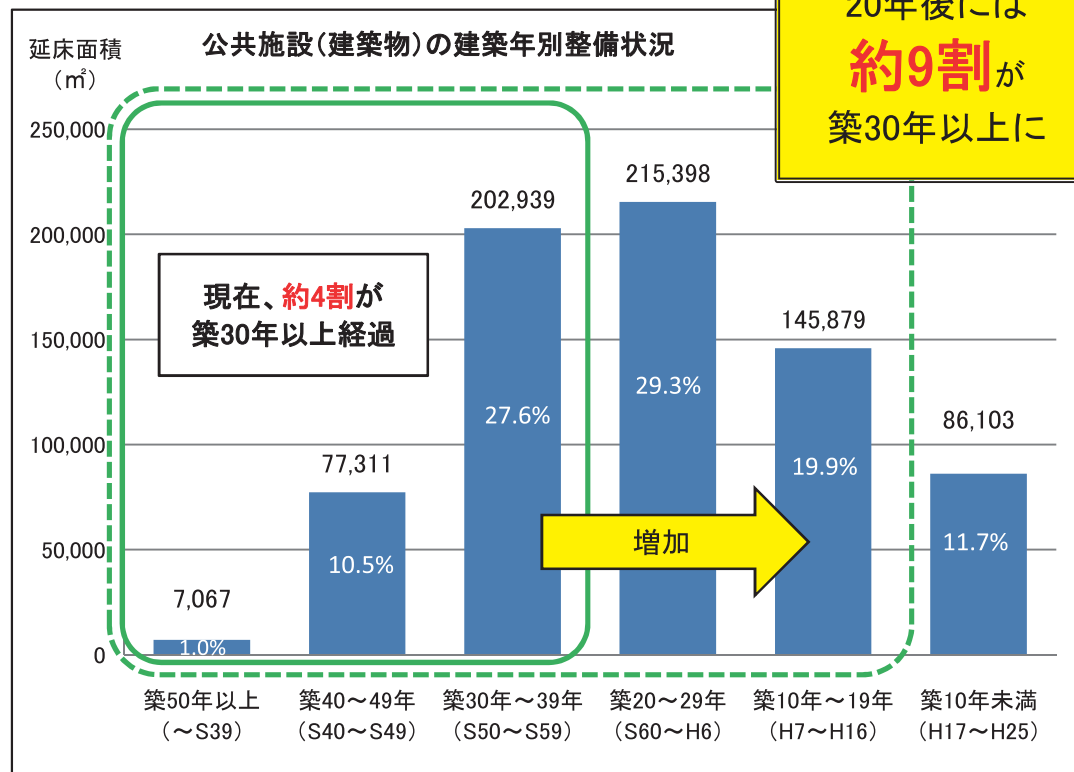
< 公営企業施設 >

水道、下水道

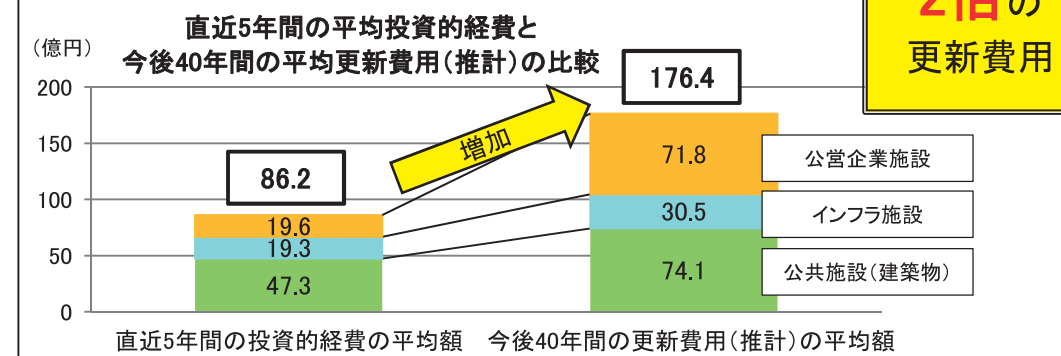


◆ その公共施設等が、今、老朽化をはじめ、様々な課題に直面しています。

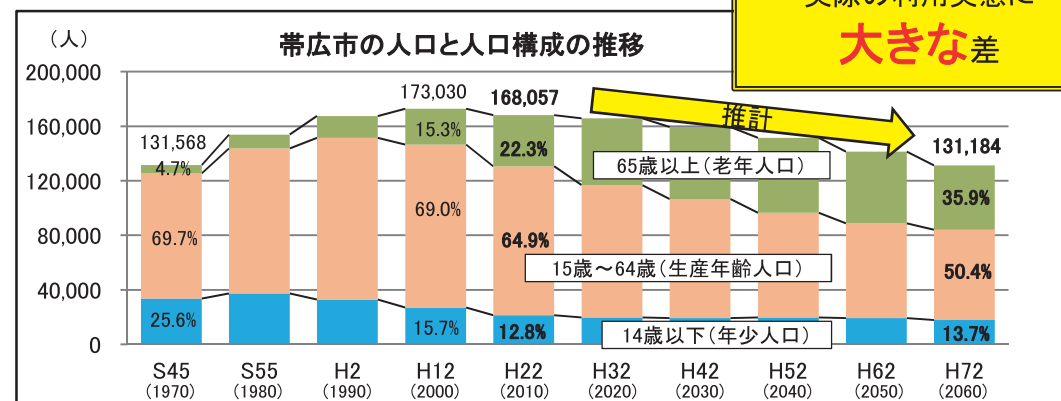
(1) 施設の老朽化



(2) 多額の改修・更新費用



(3) 市民ニーズの変化



◆ このまま何もしなければ・・・



これまでと同様のサービス提供が困難に！！

「公共施設マネジメント」を進めていくことが必要

公共施設マネジメントとは

老朽化をはじめとする、公共施設等が抱える様々な課題に対応し、公共施設等の機能が効果的に発揮されるよう、施設の長寿命化や施設総量の適正化などを進めるのが、「公共施設マネジメント」です。

公共施設マネジメントは、次の3つの視点と6つの基本方針等に基づき取り組みます。



(1) 基本的な視点

視点1

『交流を育む』



- 地域コミュニティの活性化
子どもから高齢者まで様々な世代が集い、地域コミュニティの形成に寄与する公共施設をつくる。
- 時代に適したサービスの提供
時代や人口構成の変化、市民ニーズの多様化に柔軟に対応したサービスを提供する。

視点2

『未来につなげる』



- 保全・活用の推進
サービス水準の維持、施設の更新等に係る費用の縮減のため、できる限り施設を大切に長く使っていく。
- 効率的な管理・運営
次世代へ負担を先送りしないように、維持管理費用の縮減や財源確保、効率的な施設運営を進め、公共施設等に係る負担を減らしていく。

視点3

『市民とともに創る』



- 問題意識の共有と協働
公共施設マネジメントに係る情報を共有し、課題解決の場に参画できる多様な機会の充実を図っていく。

(2) 基本方針

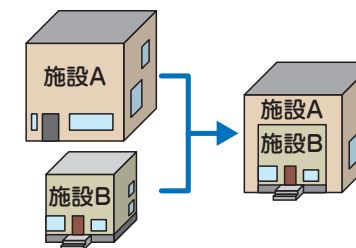
方針1 安全性の確保

国の基準等に基づく法定点検はもとより、日常的・定期的な点検・診断の実施により、公共施設等の現状を把握し、緊急性や必要経費、利用状況などを踏まえ、計画的な維持管理・修繕等を行いながら、安全性の確保を図ります。



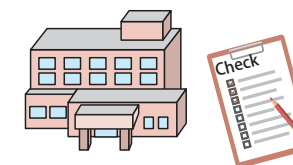
方針2 施設総量の適正化

公共施設の更新や大規模改修時に合わせて、施設機能の効果的な発揮やライフサイクルコスト（※）縮減の観点から、施設が持つ機能性を考慮しつつ、施設の統廃合や複合化、施設用途の変更、規模の適正化などにより、施設総量の適正化を図ります。
※ライフサイクルコスト・・・施設等の建設費だけでなく、維持管理、運営、修繕、改修、更新、廃棄までの事業全体に必要な総費用



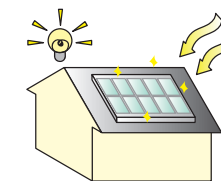
方針3 長寿命化の推進

施設の長寿命化につながる予防保全の考え方に立ち、施設の点検・診断等を行いながら計画的な維持管理等を図るとともに、市民ニーズや必要経費、延命効果等の視点を十分に踏まえ、大規模改修の検討を行います。



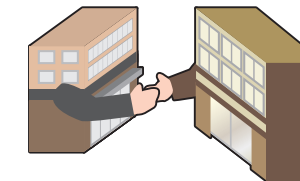
方針4 コスト縮減の推進

省エネ、創エネなどの施設の管理・運営に係る費用の縮減のほか、新技術の導入など常にコスト縮減の視点から検討を行います。また、設計段階において、耐久性やメンテナンス性を考慮するとともに、機能転換が可能となるような柔軟な設計の導入の検討を行います。



方針5 民間活力の活用

公共施設等の維持・管理に係るコストを縮減し、効率的で質の高いサービスを提供するため、PFIや指定管理者制度をはじめとする公民が連携した手法の導入など、民間活力の活用について検討を行います。



方針6 市民参画の推進



施設に関する情報を積極的に提供しながら、公共施設等を効果的・効率的に利活用していく方策等について、施設利用者や地域の住民などの市民参画を得ながら検討を行います。



施設類型ごとの考え方

1 公共施設（建築物）



施設類型	今後の考え方
地域コミュニティ施設	<ul style="list-style-type: none"> 民間活力導入の可能性など、効果的・効率的な施設の運営に向けて検討 コミュニティセンターは、ライフサイクルコスト縮減の観点から長寿命化 福祉センターは、小学校等との複合化や民間施設の活用とともに、施設のあり方を検討 農業センターは、大規模改修等が必要と総合的に判断される場合には、ライフサイクルコスト縮減の観点から改修や更新を検討  <p>森の里コミュニティセンター</p>
市民文化・社会教育系施設 スポーツ・レクリエーション系施設	<ul style="list-style-type: none"> 長寿命化を実施し、ライフサイクルコストの縮減に取り組みながら施設機能を維持 大規模改修等が必要と総合的に判断される場合には、代替施設の可能性などを踏まえ、今後の設置・運営のあり方を検討 施設の維持管理や運営について、さらなる民間活力の導入を検討  <p>帯広百年記念館</p>
産業系施設	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理や運営について、さらなる民間活力の導入を検討 大規模改修等が必要と総合的に判断される場合には、市が所有・運営する必要性や民間活力の活用など、今後の設置・運営のあり方を検討  <p>都市農村交流センター（サラダ館）</p>
学校教育系施設	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒にとって良好な教育環境の確保を図るため、将来の児童・生徒数の動向等を見極めるとともに、地域の状況を踏まえ、小・中学校の適正配置を推進 すべての学校教育系施設は耐震性が確保されていることから、計画的に施設を長寿命化 特別教室を市民活動の場として有効活用するほか、大規模改修時等に福祉センターや児童保育センター等との複合化を検討  <p>啓北小学校</p>
子育て支援施設	<ul style="list-style-type: none"> 保育所は、設置・運営に民間活力を導入 児童保育センターは、小学校の余裕教室等の活用や、小学校の大規模改修時等に施設の複合化などを検討 児童会館は、必要な修繕等の実施により、施設機能を維持  <p>豊成保育所</p>
保健・福祉・医療施設	<ul style="list-style-type: none"> 超高齢社会におけるニーズを踏まえ、計画的な設備更新や施設改修を実施し、施設機能を維持 大規模改修等が必要と総合的に判断される場合には、市が所有・運営する必要性や機能統合など、今後の設置・運営のあり方を検討  <p>保健福祉センター</p>
公営住宅	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少や人口構成の変化をはじめ、入居対象となる低額所得者の状況等を踏まえ、供給戸数を見直し 計画的に施設を長寿命化し、ライフサイクルコストの縮減に取り組むとともに、施設の維持管理や設置・運営については、民間活力の導入を検討 地域優良賃貸住宅制度など、民間事業者のさらなる活用を推進  <p>市営住宅 南東団地</p>

施設類型	今後の考え方
行政系施設	<ul style="list-style-type: none"> 本庁舎は、長寿命化を実施し、ライフサイクルコストの縮減に取り組みながら施設機能を維持 本庁舎以外の行政系施設は、大規模改修等が必要と総合的に判断される場合には、他の施設との複合化や統合化を含め、今後の設置・運営のあり方を検討 消防施設は、適切な維持管理のほか、広域消防と施設のあり方を協議しながら、長寿命化や統廃合を検討  <p>本庁舎</p>
その他施設・普通財産	<ul style="list-style-type: none"> 施設の特性を踏まえた取り組みを推進（その他施設） 設置当初の用途を廃止した施設は、建物の老朽状況等に応じて廃止後の活用方法を検討し、他の行政用途での活用のほか、除却や売却、貸付けを検討（普通財産） 無償貸付を行っている普通財産施設は、当面は貸付利用を継続し、老朽化などで施設の維持が難しくなった際には、施設の除却や売却を含め、施設のあり方を検討（普通財産） ※その他施設（とち帯広空港、駐車場、競馬場、火葬場・墓地） ※普通財産（市民活動プラザ六中、西10号会館、教職員住宅など）  <p>帯広火葬場</p>

2 インフラ施設

施設類型	今後の考え方
道路・橋梁	<ul style="list-style-type: none"> 予防保全の観点から、点検・診断に基づき、道路舗装や橋梁などの長寿命化に取り組み、安全性の確保やライフサイクルコストを縮減  <p>市道</p>
公園	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズにあった公園のあり方について検討を行いながら、計画的に公園内にある各施設の長寿命化や更新に取り組み、ライフサイクルコストを縮減 日常点検に基づき各施設の修繕を行うほか、安全で耐久性の高い施設への転換や利用されていない施設の廃止などを検討 民間活力のさらなる活用など、効果的・効率的な維持管理を検討  <p>西帯広公園</p>
簡易水道・農村下水道	<ul style="list-style-type: none"> 効率的で持続可能な更新計画の策定 上下水道事業の一元化とともに、効果的・効率的な施設の構築、管理・運営手法を検討  <p>川西浄水場</p>

3 公営企業施設

施設類型	今後の考え方
水道	<ul style="list-style-type: none"> 施設の更新計画により、老朽化対策や耐震化対策を行うなど、施設を長寿命化 水需要の予測と災害時の配水のバックアップなどを考慮した施設配置や再構築等の検討 民間活力の活用や新技術の導入など、効果的・効率的な維持管理を検討  <p>稲田浄水場</p>
下水道	<ul style="list-style-type: none"> 管渠の状況調査に基づく劣化予測により、計画的に管渠を延命化、更新 下水処理施設の広域処理への移行など、施設の統合を図るとともに、効率的な下水処理により費用を縮減 民間活力の活用や新技術の導入など、効果的・効率的な維持管理を検討  <p>帯広川下水終末処理場</p>

計画の推進

- 施設管理に係る技術的な視点や将来の財政的負担を軽減する視点を持ちつつ、関係部署が連携しながら取り組みを進めます。また、施設の更新や複合化等にあたっては、プロジェクトチームによる検討を進めるなど、機動的に取り組めます。
- 公共施設の現状に係る情報を定期的に更新し、データベースとして管理・活用するなど、情報を関係部署間で共有しながら、マネジメントに取り組めます。
- 今後、財政的な制約が高まる中では、これまでのように公共施設等を改修・更新することは困難であることから、施設総量の削減を図る視点をもって各個別施設の検討を行います。
- 広域連携や既存施設の有効活用の視点から検討を行うほか、施設の更新等にあたっては、利用者や若い世代など市民の皆さんの意見を踏まえながら、施設のあり方について検討を行います。

公共施設等は、市民生活を支える市民共有の財産であり、そのあり方はこれからのまちづくりにも大きな影響を与えるものです。

帯広市を将来にわたって暮らしやすいまちにするため、公共施設等の現状や課題について、一人ひとりが問題意識を持ち、未来につなげる公共施設のあり方を一緒に考えていきましょう。



帯広市公共施設マネジメント計画（概要版）

平成29年3月作成
帯広市政策推進部企画課

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地
TEL : 0155-65-4105 FAX : 0155-23-0151
E-Mail : plan@city.obihiro.hokkaido.jp

この概要版は、別に作成している本編をわかりやすく要約・再構成したものです。
本編はホームページ（<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp>）に掲載しています。
また、本編及び概要版については、コミュニティセンターや図書館など市内の主な公共施設でも閲覧することができます。

